

ID 番号
患者名
年齢 :

TS-1/CDDP 療法・イメド<sup>®</sup>

抗がん剤	D1 . . . 8 . . . . . 21 . . . (2週間休薬)
ティーエスワン(d1~d21)	➔
ブリプラチン【   】mg	●

身長      cm    体重      kg    体表面積      m<sup>2</sup> Scr :      Ccr :      \_\_\_\_\_

内服 : イメド<sup>®</sup> 125 mg → 80 mg → 80 mg

■ レジメン・マスタ登録用紙      セット名称    TS-1/CDDP(short hydration)      頁      確認医師署名    渡辺・小山信之

診療科名    呼吸器科      セットの概要    肺癌

管理コード      \_\_\_\_\_      投与量設定    TS-1:80-120mg/日 (day1-21)、CDDP:60mg/m<sup>2</sup>

セット区分    999      インターバル日数    35 (Day1から休薬期間を含めたレジメンの有効期間;この期間内に開始となるレジメンを追加オーダーすることはできない)

Rp	手技	投与経路	点滴速度/点滴時間	用法その他	(癌)	薬品名称	用量/単位	Day 1	Day 8	Day 15	Day	Day	Day	Day	Day
1	末梢静脈注射 (点滴)	末梢ルートメイン	速度: _____ 時間: 2時間			ソリタT3号 硫酸Mg	500ml 8ml	9:00							
2	末梢静脈注射 (点滴)	末梢ルートメイン	速度: _____ 時間: 2.5時間			生食	1000ml	11:00							
3	末梢静脈注射 (点滴)	末梢側管	速度: _____ 時間: 30分で			アロキシン デカドロン 生食50ml	0.75mg 9.9mg 50ml	11:00							
5	末梢静脈注射 (点滴)	末梢側管	速度: _____ 時間: 1.5時間			ブリプラチン 生食	80mg/m <sup>2</sup> 500ml	11:30							
6	末梢静脈注射 (点滴)	末梢ルートメイン	速度: _____ 時間: 30分で			マンニトール	300ml	13:30							
7	末梢静脈注射 (点滴)	末梢ルートメイン	速度: _____ 時間: 1時間			ソリタT3号	500ml	13:30							

体表面積	初回基準量*	<投与量確認>
1.25 m <sup>2</sup> 未満	40mg/回 (80mg/日)	<input type="checkbox"/>
1.25m <sup>2</sup> ~1.5m <sup>2</sup> 未満	50mg/回 (100mg/日)	<input type="checkbox"/>
1.5m <sup>2</sup> 以上	60mg/回 (120mg/日)	<input type="checkbox"/>

CDDP : 60 mg/m<sup>2</sup> \* 【      】 m<sup>2</sup> = 【      】 mg → 【      】 mg

可能な限り、下記の適正使用基準を満たす症例を治療対象としてください。

ULN: (施設) 基準値上限

検査項目		適正使用基準	慎重投与*
Performance Status (PS)		PS 0~2	PS 3
骨髄機能	ヘモグロビン (g/dL)	9.0以上	8.0~9.0未満
	白血球数(/mmf)	3500~12000	2000~3500未満、 12000以上
	好中球数(/mmf)	2000以上	1000~2000未満
	血小板数(/mmf)	10万以上	7.5万~10万未満
肝機能	総ビリルビン(mg/dL)	ULN×1.5倍以内	ULNの1.5倍を超えて3mg/dL未満
	AST (GOT) (IU/L)	ULN×2.5倍以内	ULNの2.5倍を超えて150 IU/L未満
	ALT (GPT) (IU/L)		
腎機能	クレアチンクリアランス (mL/min)	80以上	80> ≥60***
	投与開始量	初回基準量	初回基準量 (必要に応じて1段階減量#)

投与開始量は、クレアチンクリアランス (実測値あるいは推定値) だけで定まるものではなく、患者の状態によっては80mL/min以上の症例であっても減量が必要な場合もあります。

クレアチンクリアランス実測値がない場合は、クレアチンクリアランス推定値を用いてください。

クレアチンクリアランス  
50\*\*mL/min未満に  
おける試験結果はない

[Cockcroft-Gault式]

$$\text{クレアチンクリアランス推定値} = \frac{(140 - \text{年齢}) \times \text{体重 (kg)}}{72 \times \text{血清クレアチニン値}}$$

(女性の場合はさらに得られた値を0.85倍にする)

- ※ 適正使用基準に回復するまで投与延期することが望ましく、本剤の投与を必要とする場合には頻回に検査し、慎重に観察しながら投与してください。
  - ※※ 非小細胞肺癌における治験時にはクレアチンクリアランス60mL/min未満における試験結果はありません。  
進行胃癌を対象としたTS-1+CDDP併用試験 (SPIRITS試験) において、投与前クレアチンクリアランスが50-60mL/minの症例(21/148例)では、好中球数減少、ヘモグロビン減少、食欲不振の発現率が高い傾向を示しました。なお、クレアチンクリアランス50mL/min未満における試験結果はありません。
- # : 最低投与量は40mg/回

#### <文献>

Annals of Oncology, Volume 26, Issue 7, 1 July 2015, Pages 1401-1408,

#### <運用>

TCOG0701 CATS trial では、TS-1 投与期間が 21 日間となっているが、患者背景等を考慮して 14 日間投与の場合あり。(2017/10/27)

CDDP : day1 投与の場合あり (2017/10/27)

可能な限り、下記の適正使用基準を満たす症例を治療対象としてください。

ULN：（施設）基準値上限

検査項目		適正使用基準	慎重投与*	
Performance Status (PS)		PS 0~2	PS 3	
肺癌、胆道癌 Performance Status (PS) あるいは Karnofsky Performance Status (KPS)		PS 0 KPS 90~100%	PS 1~3 KPS 30~80%	
骨髄機能	ヘモグロビン (g/dL)	9.0以上	8.0~9.0未満	
	白血球数 (/mm <sup>3</sup> )	3500~12000	2000~3500未満、 12000以上	
	好中球数 (/mm <sup>3</sup> )	2000以上	1000~2000未満	
	血小板数 (/mm <sup>3</sup> )	10万以上	7.5万~10万未満	
肝機能	総ビリルビン (mg/dL)	ULN×1.5倍以内	ULNの1.5倍を超えて3mg/dL未満	
	AST (GOT) (IU/L)	ULN×2.5倍以内	ULNの2.5倍を超えて150 IU/L未満	
	ALT (GPT) (IU/L)			
腎機能	クレアチンクリアランス (mL/min)	80以上	80 > ≥60	60 > ≥30
	投与開始量	初回基準量	初回基準量 (必要に応じて1段階減量#)	原則として1段階以上の減量# (30~40未満は2段階減量#が望ましい)

投与開始量は、クレアチンクリアランス（実測値あるいは推定値）だけで定まるものではなく、患者の状態によっては80mL/min以上の症例であっても減量が必要な場合があります。

クレアチンクリアランス実測値がない場合は、クレアチンクリアランス推定値を用いてください。

$$\text{クレアチンクリアランス推定値} = \frac{(140 - \text{年齢}) \times \text{体重 (kg)}}{72 \times \text{血清クレアチニン値}}$$

（女性の場合はさらに得られた値を0.85倍にする）

※ 適正使用基準に回復するまで投与延期することが望ましく、本剤の投与を必要とする場合には頻回に検査し、慎重に観察しながら投与してください。

#：最低投与量は40mg/回

注：重篤な骨髄抑制のある患者、重篤な腎障害のある患者、重篤な肝障害のある患者には投与しないでください。

投与不可  
クレアチンクリアランス  
30mL/min未満

自治医科大学附属さいたま医療センター  
がん化学療法委員会、医療安全管理委員会

平成 年 月 日  
指示医サイン \_\_\_\_\_  
指導医サイン \_\_\_\_\_  
看護師サイン \_\_\_\_\_

2015.3.5 作成